



主要な農作物の生育情報

令和2年度 第6号

(令和2年9月9日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

農業総合センターの作柄解析試験では、出穂期が本部（郡山）で平年より3日遅く、会津地域研究所（会津坂下）で概ね平年並、浜地域研究所（相馬）で平年より5～6日遅くなりました（表1）。8月の気温が高く経過していることから、登熟はやや早いと見込まれます。

表1 水稲主要品種の出穂期（本年値）と成熟期（平年値）

場 所	品 種	移植期 (月日)	出穂期			成熟期の 平年値 (月日)
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	
本 部 (郡山)	ひとめぼれ	5.15	8. 6	8. 3	+ 3	9.20
	天のつぶ	5.15	8. 7	8. 4	+ 3	9.22
	コシヒカリ	5.15	8.14	8.11	+ 3	10. 1
会津地域研究所 (会津坂下)	ひとめぼれ	5.20	7.29	7.30	- 1	9.10
	天のつぶ	5.20	7.31	8. 1	- 1	9.14
	コシヒカリ	5.20	8. 6	8. 5	+ 1	9.18
浜地域研究所 (相馬)	ひとめぼれ	5.11	8. 5	7.30	+ 6	9.14
	天のつぶ	5.11	8. 6	8. 1	+ 5	9.23
	コシヒカリ	5.11	8.13	8. 7	+ 6	9.29

※ 農業総合センター作柄解析試験。平年は前5カ年の平均値。

2 大豆

農業総合センター作柄解析試験の開花期は本部（郡山）で1～3日、会津地域研究所（会津坂下）で1～2日、浜地域研究所（相馬）で2～6日、平年より遅くなりました。

【野菜】

1 きゅうり

抑制栽培の定植は、平年並の7月中下旬から8月上旬にかけて行われ、収穫は平年並の8月中旬から始まりました。露地栽培は、収穫の後半を迎えており、草勢は低下傾向となっています。

ほ場により、べと病、炭そ病、つる枯病がみられ、害虫はアブラムシ類、ハダニ類が発生しています。

2 夏秋トマト

梅雨明け後の高温の影響により中段での落花がみられましたが、上段では正常に着果しています。

ほ場により、灰色かび病、すすかび病、葉かび病がみられ、害虫はアザミウマ類、コナジラミ類、オオタバコガが発生しています。

3 さやいんげん

5月定植の作型は8月上旬に収穫盛期を迎え、現在収穫の終盤を迎えています。7月定植の作型では概ね良好に生育し、現在収穫盛期を迎えています。

4 夏秋ピーマン

梅雨明け後に収穫の盛期となり、草勢は低下したまま収穫の後半を迎えています。害虫はアザミウマ類、アブラムシ類が発生しています。

【果 樹】（9月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 もも

「川中島白桃」の収穫盛期は8月15日で平年より12日早くなりました。果実の大きさは408gで平年より大きく、糖度は14.1で平年より高くなりました。

「ゆうぞら」の収穫盛期は8月23日で平年より12日早くなりました。果実の大きさは388gで平年より大きく、糖度は14.3で平年より高くなりました。

2 なし

「幸水」の収穫盛期は8月25日で平年より5日早くなりました。果実の大きさは413gで平年より大きく、糖度は12.1で平年並でした。

「豊水」の果実肥大は、暦日比較では縦径が79.4mmで平年比106%、横径が92.4mmで平年比107%と平年よりやや大きい状況です。満開後日数の体積指数で比較すると、平年比106%でやや大きい状況です。「豊水」の満開後136日（8月31日）における成熟調査では、糖度は11.7と平年並ですが、果実硬度は4.6ポンドと平年より低く、蜜入り指数は平年よりやや高いため、適期収穫を図っています。

3 りんご

「つがる」の収穫開始は8月25日で平年より3日早くなりました。収穫開始時の果実品質は、果実の大きさが224g、糖度が12.8、果肉硬度が12.0ポンドでした（参考値）。

「ふじ」の果実肥大は、暦日比較では「ふじ」は縦径が68.3mmで平年比95%、横径が76.7mmで平年比97%と平年よりやや小さくなっています。満開後日数の体積指数で比較すると、平年比88%で小さい状況です。

【花 き】

1 キク類

8月咲きの品種はやや早い～平年並の出荷でした。また、9月咲きは7月の日照不足等の影響のため開花が2～3日程度前進しています。10月咲きについても、同様に発蕾がやや前進となっています。病害虫では、白さび病、ハダニ類やアザミウマ類、オオタバコガ等の発生が散見されます。

2 リンドウ

8月咲きの早中生品種はやや早い～平年並の出荷でした。また、9月彼岸向けの中晩生品種については、高温による花卉の色抜け症状が平年並の発生で、一部の産地では徒長しています。

病害虫では、リンドウホソハマキ、カメムシ類の発生が多くみられ、褐斑病、黒斑病、葉枯病の発生も増えてきています。

【飼料作物】

1 牧草

2番草は収穫が終わり、3番草の生育期となっています。降雨による2番草収穫の遅れの影響で草丈の低い牧草地が見られます。3番草は9月中旬から収穫・調製が行われる見込みです。

2 飼料用トウモロコシ

早生種は8月下旬から収穫・調製が行われ、現在、中晩生種の収穫期を迎えています。

3 WC S用稲

8月下旬より収穫が開始され、これから本格的な収穫期を迎えます。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>